

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成27年度第8回（定例会）

署名人 神村 洋子

委員長 添石 幸伸

開催日時 平成27年7月28日（火）

開会 午前10時00分

閉会 午後12時38分

開催場所 那覇市役所11階 1101AB会議室

出席委員 添石幸伸委員長、喜久里美也子委員、饒波正博委員、神村洋子委員、渡慶次克彦教育長

議 事 日 程

（2～8は非公開）

- 1 議案第19号 那覇市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 【学校給食センター】
- 2 議案第17号 平成28年度使用小学校教科用図書の採択について 【学校教育課】
- 3 議案第18号 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について 【学校教育課】
- 4 請願等第1号 X中学校で発生した危険行為に関する請願について 【学校教育課】
- 5 報告1 平成27年度那覇市一般会計補正予算（6月補正）の確定について 【総務課】
- 6 報告2 平成27年度那覇市一般会計補正予算（9月補正）に関する要求について 【総務課】
- 7 報告3 教育長が臨時代理したことについて（平成27年度那覇市一般会計補正予算（9月補正）に関する意見の申出） 【総務課】
- 8 報告4 教育長が臨時代理したことについて（平成27年度那覇市一般会計補正予算（9月補正）に関する意見の申し出について（幼稚園関係分）） 【こども政策課】
- 9 報告5 那覇市議会6月定例会における代表・一般質問答弁状況について 【総務課】

出席職員

【生涯学習部】伊良皆宜俣部長、屋比久猛義副部長

（総務課）山内健課長、佐久川敏明副参事、加藤和歌子主査、伊禮道子主査

【学校教育部】田端一正部長、森田浩次副部長

（学校教育課）相澤敬二課長、武富剛副参事、宇根克副参事、望月雄紀指導主事、與那嶺美奈子指導主事
新地康秀指導主事

(教育相談課) 金城一石指導主事

(学校給食センター) 仲村功所長、親川修副所長

【こどもみらい部】 浦崎修部長、

(こども政策課) 松元通彦副参事、宮城安伸主幹

会議録作成 (総務課) 赤嶺明日香主査

添石委員長　　これより平成２７年度第８回教育委員会会議定例会を開催いたします。本日の会議録署名は神村委員にお願いいたします。それでは議案第１９号「那覇市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」を議題といたします。田端部長、お願いします。

田端部長　　それでは議案第１９号でございます。「那覇市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」、那覇市学校給食センター運営委員会委員を別紙のとおり委嘱する。平成２７年７月２８日提出。教育長　渡慶次克彦。提案理由、那覇市大名学校給食センターの開設他に伴い、那覇市学校給食センター運営委員会規則第３条及び第４条の規定に基づき、委員(補欠委員)を委嘱するので、この案を提出する。詳細は学校給食センターより行います。

添石委員長　　はい、よろしくお願いします。

仲村所長　　お手元の議案書の１ページをご覧ください。平成２７年６月１８日、議案第１２号で首里学校給食センター運営委員として承認をいただきました大名小学校、城北小学校、城北中学校の運営委員を、大名学校給食センター設置に伴い、首里学校給食センター運営委員を解嘱し、新たに大名学校給食センター運営委員として委嘱いたします。なおメンバーについては変更ございません。続きまして２ページをご覧ください。鏡原中学校給食室改築に伴い、こちらの工事が完了しますと新たに小規模給食センターとして鏡原中学校、小禄南小学校に配食する鏡原学校給食センターとしてオープンするのですが、その鏡原学校給食センターとして運用開始までの間、同校の給食は小禄学校給食センターから配食するため、同校学校長及びＰＴＡ会長を小禄学校給食センター運営委員として委嘱いたします。続きまして３ページをご覧ください。こちらで平成２７年６月１８日、議案第１２号で、安謝学校給食センター運営委員として委嘱をご承認いただきました、安謝小学校ＰＴＡ会長が東京へ転勤になったため、ＰＴＡ副会長の八谷様へ運営委員を変更するものでございます。以上となっております。

添石委員長　　それでは本件につきましてご意見、ご質問ございましたらお願いいたします。はい、神村委員。

神村委員　　学校長は当該学校の在任期間中の任期となっておりますよね。ＰＴＡ会長、副会長もその在任の期間というのはあるのですけれども、大体、任期２年でしょうか。運営委員の任期は２年になっていますけれども、この辺は何かありますか。

仲村所長　　ＰＴＡ総会での入れ替えが６月の時期にあるということと、あとＰＴＡの代表者が給食費の監査委員に大概一人は当たります。その監査の時期が６月になっているものですから、その担当した年度の監査を行っていただくということがございます。

神村委員　　例えばＰＴＡ会長にしてもその在任期間というのはありますよね。校長と同じよ

うに在任期間で職が外れるということはあると思いますが、校長の場合は在任期間中という文言で、それからほとんどのPTA会長、副会長についてはきちんとした任期があるということは、地域にいたのでそのまま継続可能ということなのか、ということをお伺いしたいのですが。

仲村所長 運営委員会規則のほうでは、PTAの代表者、学校長及びPTAの代表者が運営委員とするということがございます。

神村委員 必ずしも役職ではなくて、PTAの代表者として継続できるということですね。

仲村所長 はい。役職ではなく、PTAの代表者ということになっております。

添石委員長 よろしいでしょうか。ほかいかがでしょうか。それではほかにご質問ないようですので、議案第19号「那覇市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

全 員 異議なし

添石委員長 議案第19号は原案どおり議決いたしました。それでは続きまして、議事日程2から8までは非公開とすることが適当であると思われまます。まず日程2、3は教科用図書の採択にあたって公正で静ひつな環境を確保するため、日程4については個人情報保護のため、日程5から8については予算要求の数値が含まれているためであります。それでは会議の非公開の可否について採決いたします。議事日程2から8までを非公開としてよろしいでしょうか。

全 員 異議なし

添石委員長 異議なしとのことですので、議事日程2から8までを非公開といたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

～ 非公開 ～

添石委員長 それではここで非公開を解かせていただきたいと思います。それでは本日最後の議題となります。報告5「那覇市議会6月定例会における代表・一般質問答弁状況について」の説明をお願いいたします。

伊良皆部長 報告5でございます。「那覇市議会6月定例会における代表・一般質問答弁状況について」、みだしのことについて、別紙のとおり報告する。平成27年7月28日提出。教育長 渡慶次克彦。報告理由、那覇市議会平成27年6月定例会における教育委員会への代表質問・一般質問の答弁状況を報告する。内容につきましては総務課のほうでご説明します。

添石委員長 お願いします。

山内課長 別添の教育委員会関係代表質問・一般質問答弁資料集をご覧ください。ページを捲っていただきまして目次がございます。6月議会では代表質問・一般質問、合わせまして33件の質問が出ております。次のページをご覧ください。これは課別答弁状況一覧表としてまとめております。この中から今議会における特徴的な

質問を2つほど抽出して答弁の概要趣旨を説明させていただきます。国において公職選挙法が改正され、選挙権が現行の20歳から18歳に引き下げられるということになることから、学校教育における主権者教育などの必要性や取り組みについて質問がございました。これが学校教育課のNo.1「18歳選挙権法案について」、No.8「選挙権年齢引き下げに関するシティズンシップ教育の取り組みについて」、No.10「18歳からの選挙権、主権教育について」でございます。答弁の概要としましては、教育委員会としては将来の有権者である児童・生徒に対して、主権者としての自覚と社会参画の力を育む教育は重要と考えていること。教科の授業としましては、小学校6年生や中学校3年生の社会科の授業で政治や民主主義について学習し、将来の有権者としての知識を身につけさせる授業があること。また教科活動以外では、学級活動、児童会・生徒会活動などでの企画運営、役員選挙などの教育活動の中で主体的に参加・体験させ充実を図っているということなどを答弁しております。次に文部科学省から今年4月に性同一性障害などの性的マイノリティーとされている児童・生徒へのきめ細かな対応を求めるという通知文が出ております。それを受けましてLGBT、性的マイノリティーの子ども達の実態、学校の対応についての質問がございました。これが学校教育課のNo.14「LGBT・性的マイノリティーについて」、No.21「性別でわけない名簿の使用と人権教育の充実について」、No.27「性同一性障害の児童生徒への配慮について」という質問でございました。答弁としましては、沖縄県の調査結果に基づき、全県的なデータとして答弁をしております。それによりますと、沖縄県全体で平成25年度、26年度において児童生徒や保護者からの相談件数は、計5件あったと、それに対して学校としての細やかな対応としては、トイレや更衣室の使用、プールなどの配慮を行っていること。また教職員の共通理解が図られている学校も増えてきており、学校によっては学習活動の中で男女差を感じさせない工夫を取り入れるなどの対応をしてきていると答弁をしております。那覇市教育委員会としましては、教職員の知識や理解を高める研修会の実施や教育相談の充実を図るよう支援していきたい旨、答弁しております。この中に、21番の「性別でわけない名簿の使用と人権教育の充実について」ということは、男女混合名簿ということで、これまでも何回か出てきておりました。これまではどちらかということ、男女平等という観点からだったのではないかという感じがしますがけれども、今回は性的マイノリティーへの配慮の点から検討していったらどうかというご質問でございました。以上、簡単ではございますが説明でございます。細かい内容については、1ページから30ページまで添付してあるとおりでございます。何かほかに疑問の点とか質問がありましたらお受けしたいと思います。よろしく願いいたします。

添石委員長
喜久里委員

それではご意見、ご質問等ございましたらお願いします。はい、喜久里委員。
性同一性障害のことですが、大体、何となく理解は出来てはいますけれども専門的にフォローをしたり、助けていけるというのは専門家になるのかなという気がするのですが、そういう職の人や担当の方もいらっしゃるのですか。

田端部長

性同一障害は障害でありますので、医師の診断結果に基づいて、適切な処方箋に基づいて対応することが求められます。ところが学校のほうでは診断を受けたのかとか、そういうものに関してはなかなかない部分が多いです。ただ、その基盤にあるのはいろんな性を認めましょうと、さらにもっと深く言うと、男女平等の社会を作りましょうということがありますので、その辺は男女共同の普及活動を行いながら人権を認めていくという、そういう方向で教育は進めていきたいと考えております。様々な性の問題が出てきておりますので、それについては職員研修を進めていく必要があるかと思えます。若干そこはまだ足りないところです。

喜久里委員

私も実際、中学までは男の子で、高校から女性の制服を着ますという子と接したことがあるのですが、この子は高校に入って制服は女子にしましたというのが大きく新聞にも取り上げられて、その子たちがどんどん出て来ることで楽になっていく人もいるのかなと思って見ていたのですが、やはり周りの大人が専門的にそれは悪い事ではないということで助けてあげたら、さらにどんどん進んでいくと思えますので、そういう研修も早くなさっていただけたらと思います。以上です。

添石委員長
神村委員

はい、神村委員。
学校現場に学習支援ボランティアとして退職した教諭が入っているのですけれども、そこでの話がありました。「もうちょっと女の子らしくしなさい」という言葉を言ったということで、その時に若い教師から、今の言葉はジェンダーに引っかかりますよということを言われたそうです。そのボランティアが世の中は進んでいる、そして先生方も勉強をしているね、ということを言っていましたので、現場もかなりこういうことに関しては敏感に教師も気を付けるような雰囲気になっているというふうに私達も察しました。以上です。

添石委員長
饒波委員

はい、饒波委員。
知識的にもこのようなことはわからないのですが、15ページを見ますと、26年度で保護者から相談2件、本人から2件なのですが、個人情報に抵触しない程度で、相談というのはどういう相談になるのでしょうか。内容がわかればと思ひまして、ピンとこないのです。

田端部長

これは県の数なのか、那覇市の数なのか、確認しないとわかりませんが、やはりうちの子どもの、という保護者からの相談ということだと思います。また本人からの相談もあったと思いますが、調べておりませんので今申し上げることが出来ません。

饒波委員 わかりました。

添石委員長 私のほうから、今の話の関連で、先日、市長自ら那覇市が宣言していたと思いますが、その辺が少し今の話に関連してくるのかなと思いますけれども、何かご説明出来ますでしょうか。宣言の位置づけ的なもので。

伊良皆部長 担当しておりませんので今申し上げることが出来ません。

添石委員長 今、用意できなければ次回でも少し関連資料をいただければ、私も報道でしか確認していないものですから。ほかいかがでしょうか。はい、饒波委員。

饒波委員 22ページのドッジボールの件ですけれども、議員はそれを想定して質問したかどうかわからないのですが、ドッジボールが一部では、いじめを増長するのではないかという危険なスポーツで、授業でやるのはいかがなものかという意見もあるのですけれども、それに関しては何かご意見はありますか。

伊良皆部長 議員の質問の背景は、インターネットのほうでいろんな意識調査が行われているそうです。今回、授業でドッジボールを禁止するべきという意識調査がありまして、その中で禁止するべきというのが7.9%、これは全体で18万票位あるのですが、これだけ来るといのはかなり異例らしいんですね。その中で禁止するべきというのが7.9%だったと。たまたまその前に、ドッジボール大会を教育委員会主催で行っていたものですから、それと関連してこういうものがあるので、このドッジボール大会の開催目的と何が学べるのかということを知りたいということがありまして、それに関しまして答弁はいたしました。議員ご本人は、ドッジボールをやっていじめにつながりやすいとか、禁止したらどうかという部分は、一応ありはするのですが、本人はそれを否定することではないと。安全にやられているかどうかという部分、考え方を聞きたいというふうなことがありましたので、我々としても、顔面に当たらないようなルールを作っていこうということで、腰より低くするということであるとか、そのようなローカルルールを作って安全に大会運営をやっているし、学校のほうも授業でやる場合については、柔らかいボールを使ってやっていると、こういうことで答弁はしております。

饒波委員 議員は、そういうことが議論されていることは認識して質問したということですか。

伊良皆部長 先ほども申し上げましたけれども、インターネットの意識調査という部分があるのですが、たまたま我々が直近で開催した大会があったということ、それから意識調査の中で18万票位の投票があったということで、投票状況の高さというものがあったので取り上げましたということがありました。

添石委員長 よろしいでしょうか。ほかいかがでしょうか。はい、喜久里委員。

喜久里委員 きら星第2学級について、20ページのほうに質問と答弁があるのですが、補助があって今までやっていた支援をここに移行してきた那覇市の事業なのですが、

とても素晴らしいことなので、是非、声を大にしてやっているぞと言いたいのですが、送迎も行っていて24名を大切に育てていると思いますが、やっているよということをアピールして活動していただけたらと思います。素晴らしい事業だと思っております。

添石委員長

はい、田端部長。

田端部長

第2きら星は福祉部のほうでやっていました、送り迎えがある生活保護世帯を対象にした居場所づくり事業を引き継いだかたちで行っているものでございます。真和志庁舎から離れて50m位の所に建物の一室を借りて、第2きら星として成果を上げてところであります。勿論、学校への登校復帰というのを主眼にしておりますので、学校に戻ることを第一にしております。ところがだいぶ好評でちょっと人数も増えましたので、内々でありますけれども、もう1ヶ所場所を確保してやったらどうかという動きを少し模索しております。これは上手くいけば第3きら星ということになって、人数が多くなることは喜ばしいことではないのですが、学校に戻るということができれば、行政として仕事をしている意味があるかなと、これからも掘り起こしに努めていきたいと考えております。以上です。

喜久里委員

人数が増えることは喜ばしいことではないのですが、救いがあるという意味では本当に良い事業だなと思っております。頑張ってください。

添石委員長

ほかいかがですか。はい、饒波委員。

饒波委員

9ページの選挙権に関連して、明るい選挙推進協議会というのがありますが、それが市民の選挙のあり方と街づくりのあり方を教えるための教材を作っているのですが、僕もやったことがあって結構ゲーム形式で面白いのですが、そういうものも、意見ですけれども活用していただけたらどうかと思います。

添石委員長

はい、田端部長。

田端部長

ありがとうございます。是非活用させていただきたいと思います。これまでどおり小学校の社会科、中学校の社会科で政治に参画して社会を形成していく一人としてしっかりこの自分の投票する一票が大事なものだということを学習にして進めていきたいなというふうに考えておりますので、様々な教材をこれから探していきたいと思います。よろしくお願いします。

添石委員長

よろしいでしょうか。それでは報告5「那覇市議会6月定例会における代表・一般質問答弁状況について」は、終了いたします。それでは以上をもちまして平成27年度第8回教育委員会会議定例会を終了いたします。

案件の審議結果

議案第19号	那覇市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	原案どおり可決
議案第17号	平成28年度使用小学校教科用図書の採択について	原案どおり可決
議案第18号	平成28年度使用中学校教科用図書の採択について	原案どおり可決
請願等第1号	X中学校で発生した危険行為に関する請願について	不採択
報告3	教育長が臨時代理したことについて	承認
報告4	教育長が臨時代理したことについて	承認